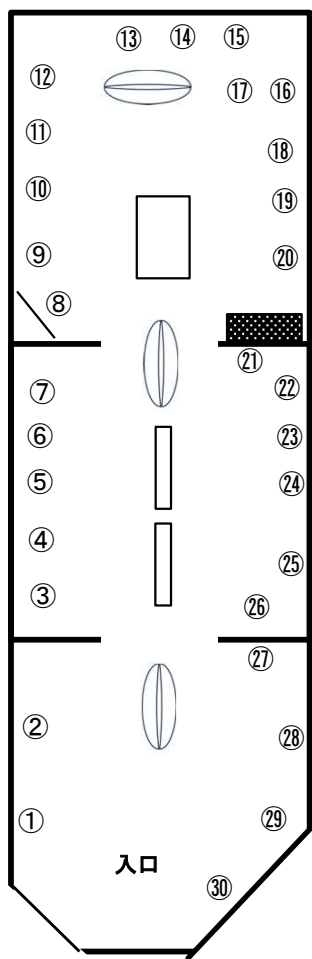


今からちょうど30年前のこと。高松市塩江町出身の洋画家・熊野俊一（1908～2005年）が故郷塩江町に約350点余りの絵画を寄贈したことを受けて、1994（平成6）年4月に高松市塩江美術館（旧・塩江町立美術館）は開館しました。その開館に尽力した熊野は、小学校の教師をしながら画家になる夢をかなえるため、1932（昭和7）年に上京しました。その後1963（昭和38）年に初めて訪れたヨーロッパの風景の美しさ、特に南仏の光がもたらす色彩に魅了され、以降何度も渡欧を繰り返し、滞在しながら制作を続けました。

また開館目前の1993（平成5）年には、画家・川島猛（1930年高松市生まれ）の助言で塩江町が企画し、開催された「日米ヤング・アーティスト・フェスティバル」では、アートを通じた多彩な国際交流が実現しました。そのことがきっかけとなり、当館では川島作品のほか、塩江に縁深い美術家の作品を所蔵しています。

本展では、開館30周年の新たなはじまりを記念して、熊野俊一の渡欧以前の初期作品を中心に、開館始動時ころに所蔵された国内のアーティストの作品もあわせて紹介します。



No.	作品名	作者	制作年	材質・形状
1	母の像	熊野 俊一	1929	油彩・カンヴァス
2	三人像	熊野 俊一	1934	油彩・カンヴァス
3	熱河の牧場	熊野 俊一	1943	油彩・カンヴァス
4	熱河B	熊野 俊一	1943	油彩・カンヴァス
5	炭鉱戦士	熊野 俊一	1943	油彩・カンヴァス
6	御伽話	熊野 俊一	1954	油彩・カンヴァス
7	人物（顔）	熊野 俊一	1955	油彩・カンヴァス
8	馬	熊野 俊一	1960	油彩・カンヴァス
9	人物（裸体）	熊野 俊一	1958	油彩・カンヴァス
10	モレー風景	熊野 俊一	1964	油彩・カンヴァス
11	シャトー・キャニュー	熊野 俊一	1969	油彩・カンヴァス
12	ポンポンダリア	熊野 俊一	1972	油彩・カンヴァス
13	NO. 3	川島 猛	1968	シルクスクリーン・紙
14	Red and Red	川島 猛	1969	シルクスクリーン・紙
15	yellow and silver A-B	川島 猛	1968	シルクスクリーン・紙
16	NO. 691	川島 猛	1969	シルクスクリーン・紙
17	NO. 690	川島 猛	1969	シルクスクリーン・紙
18	Skyscraper New York A	川島 猛	1984	シルクスクリーン・紙
19	DREAMLAND April	川島 猛	1989	アクリル、インク・発砲スチロール、木
20	DREAMLAND-KOJUKA. SONO MAY 1991	川島 猛	1991	シルクスクリーン・紙
21	カチナドールS	猪熊 弦一郎	1980	銅版画・紙
22	カチナドールA	猪熊 弦一郎	1980	銅版画・紙
23	カチナドール	猪熊 弦一郎	1980	リトグラフ・紙
24	カチナドール	猪熊 弦一郎	1980	リトグラフ・紙
25	光を求めて	四宮 金一	1996	アクリル・変形カンヴァス
26	ROOMの屈折（6）	四宮 金一	1987	シルクスクリーン・紙
27	春の詩	小林 正六	1990	油彩・カンヴァス
28	初夏	小林 正六	1992	油彩・カンヴァス
29	対応する時差の祈り	江戸 健	1980	油彩・カンヴァス
30	海は魔物よ	江戸 健	1990	油彩・カンヴァス